

日時	5月14日(火)4限	教科書	<i>New Horizon English Course 2 (Unit 2)</i>
クラス	2年3組	本時の目標	Joshのスピーチを聞き、Joshの状況をふまえてコメントしよう。
授業者	甲斐 旭	本時の狙い	生徒が登場人物の状況を捉え、整理した上で適切なコメントをすることができるようになる。
教科	英語		

授業の流れとポイント (白いふきだし：発言、黄色のふきだし：ポイント)

### 1. Small Talk (What Japanese food is good for foreigners?)



本単元のパフォーマンス課題 (外国人におすすめの日本料理を紹介する) をふまえ、現時点での自分の考えを整理し、全体で考えを共有する。

☆本時において、日本食について考えるきっかけの場にもなっている。

### 2. 本時の導入 (テーマ: Food Culture: What is your favorite Japanese food?)



自分のお気に入りの日本食について考えることで「自分の状況」を整理する。

登場人物 (Josh) の背景について全体で確認することで、Josh が日本に来て2年以上経つこと (=日本には馴染みがあること) や、フィリピン出身であることを整理する。



When did Josh come to Japan? Does he know about Japan well? Where is he from?

本時の目標と Josh がスピーチをしている場面 (テーマである Food Culture: What is your favorite Japanese food? について話している) をふまえて学習の「見通し」を立てる。



見通し: 「Food Culture という視点から Josh のスピーチを聞き、内容を整理してコメントする。」



目的・場面・状況等へのメタ認知につながる「見通し」の段階における姿。

→教師側が常に聞き取りなどの活動のポイントを提示するのではなく、生徒自らが場面などをふまえて目的などを捉えられるようにする。

### 3. Josh のスピーチを聞き、コメントをする①（3人グループで役割を分担して行う。）



それぞれが立てた見通しに基づいてモニタリング・アドバイスする。

Josh のスピーチを聞き、要点を捉えるために状況を整理し、それに対するコメントメモを作成した。また、3人グループで A：発表、B：ビデオ撮影、C：モニタリングという役割を分担し、それぞれの役割を回しながら発表からモニタリングまでを全員が行えるようにした。モニタリング役を設定して他者モニタリングを行わせることで、自己モニタリングへつなげる手立てとした。発表者はモニタリング役からアドバイスをもらい、メモを修正することでパフォーマンスの向上につなげている。

### 4. 本文の内容確認（全体共有）



Josh のスピーチの内容について、2で確認した Josh の背景情報と関連させながら整理し、Josh が母国（フィリピン）と日本のカレーの「違い」に関心を持っていることを生徒との QA を通して整理した。 = 状況の整理

What is he interested in?

Curry.

Yes. Which country's curry?

Japanese curry.

Why is he interested in Japanese curry?

### 5. Josh のスピーチを聞き、コメントをする②（3人グループで役割を分担して行う。）



3と4をふまえて自分のメモを修正し、もう一度 Josh へのコメントを行う。最初の発表と比べて、「違い」に着目したコメントを述べる生徒が増え、Josh の状況への理解が深まっていた。